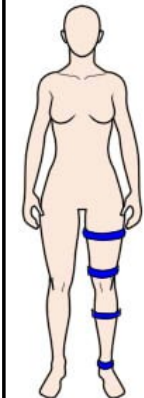
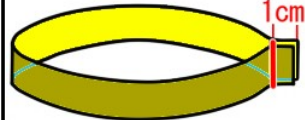
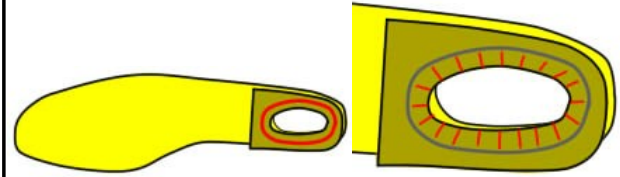
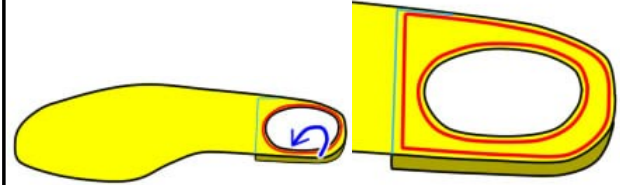
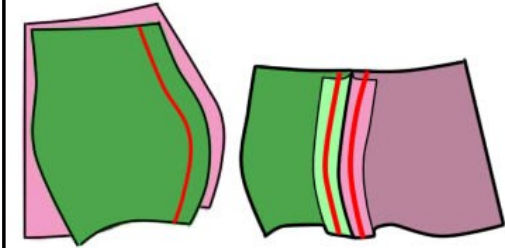

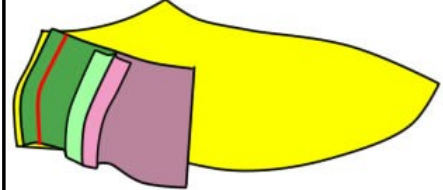

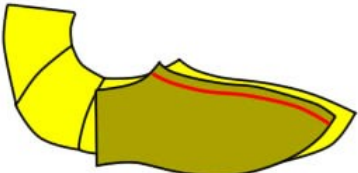
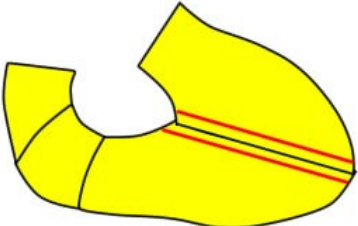
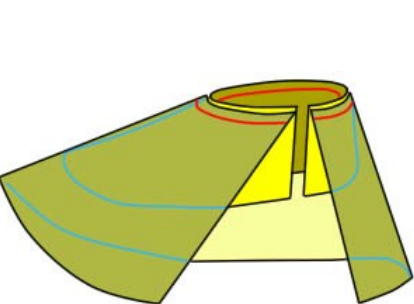
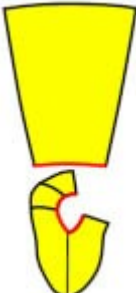
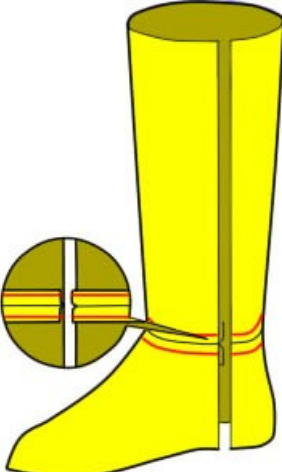
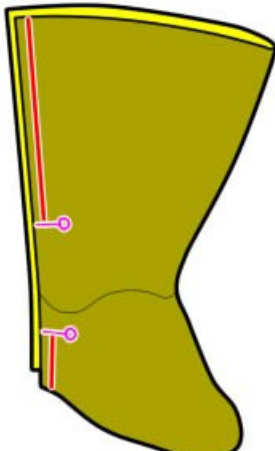
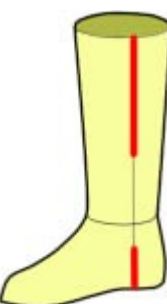
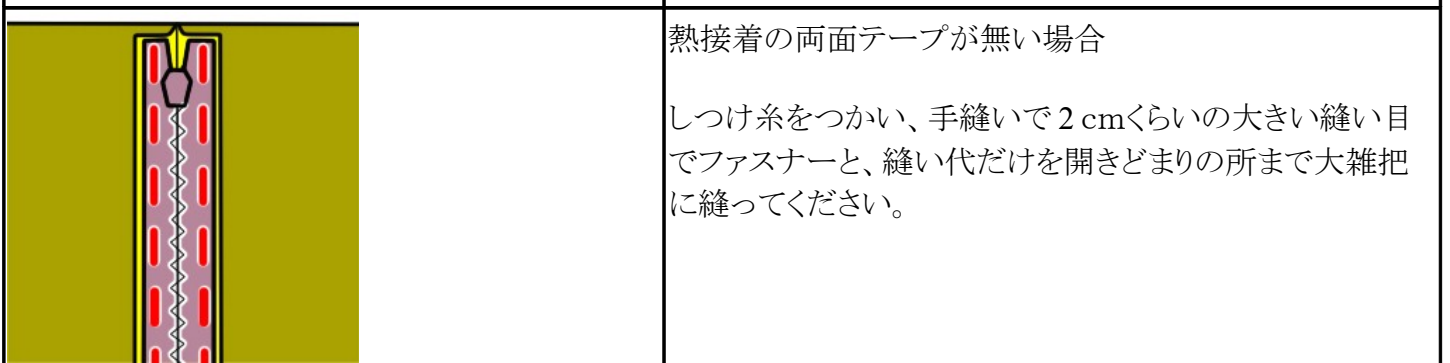
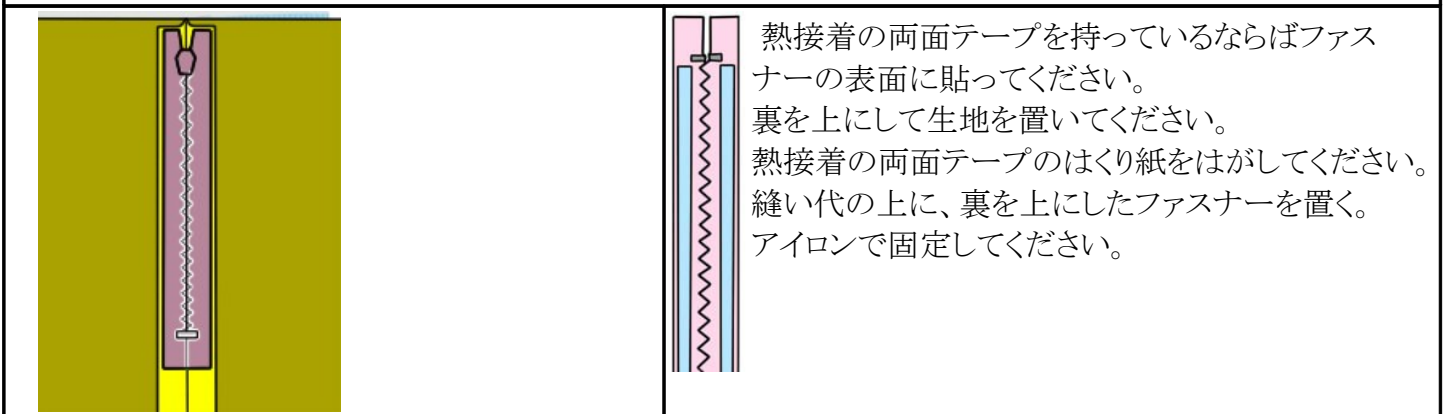
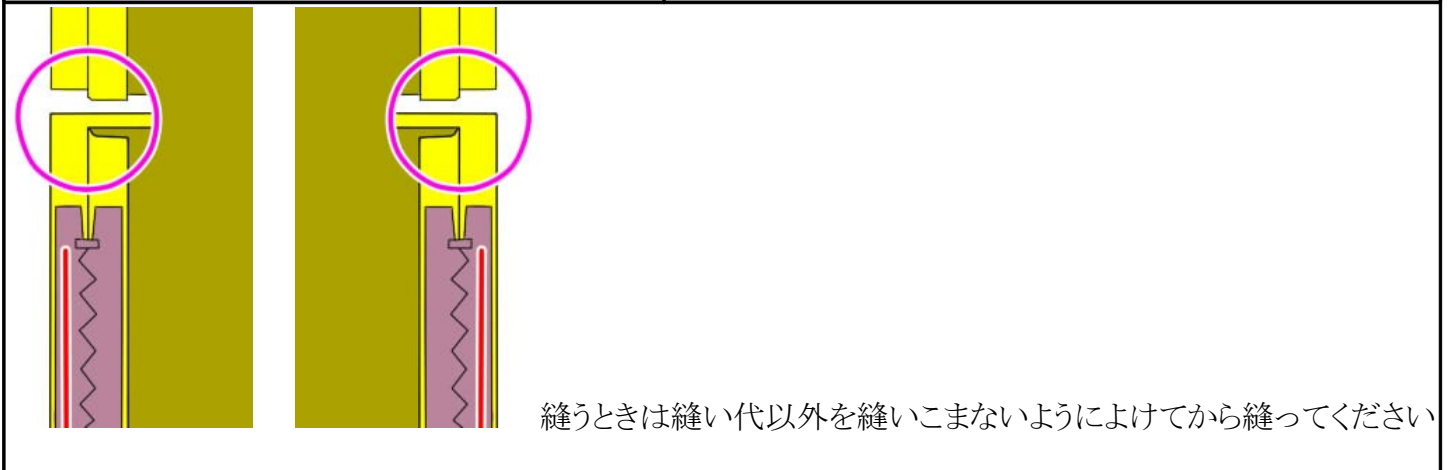
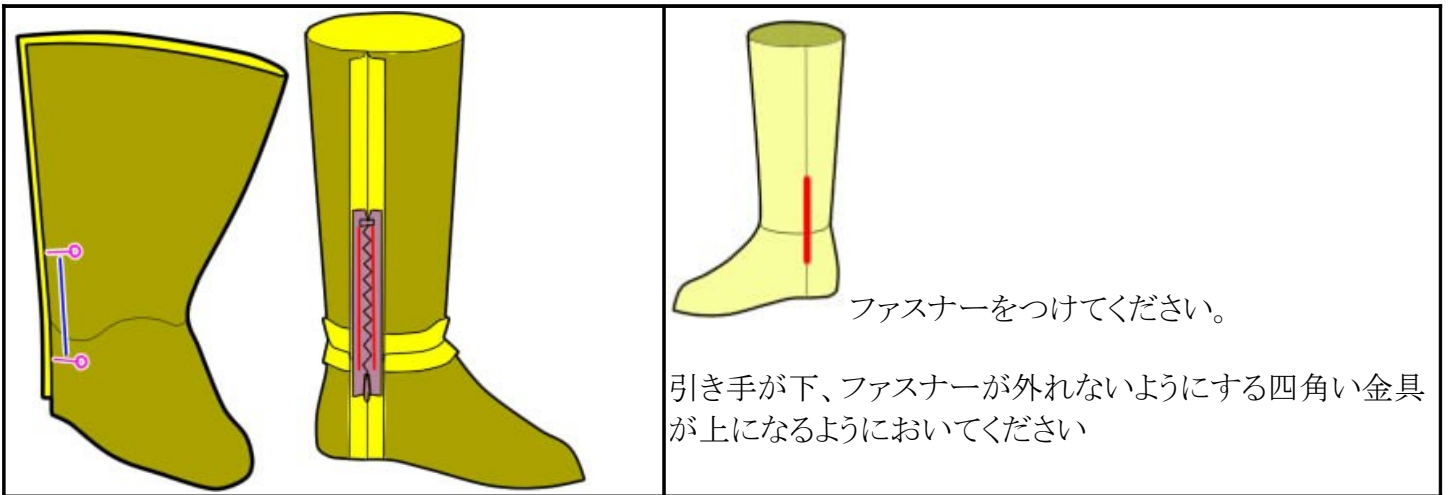
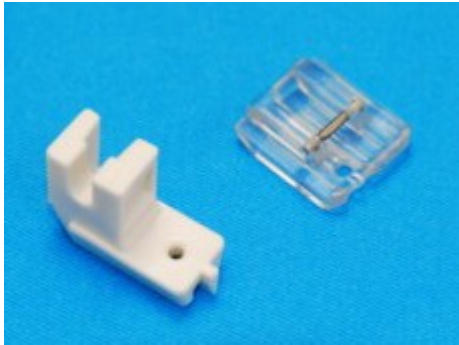

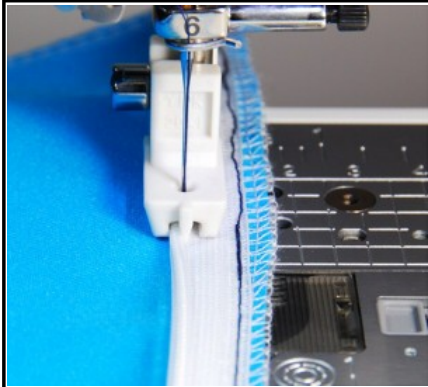
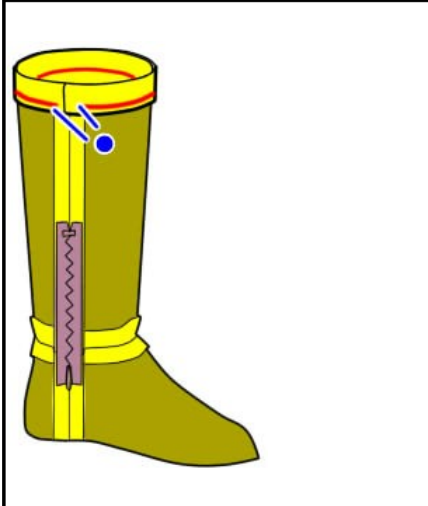
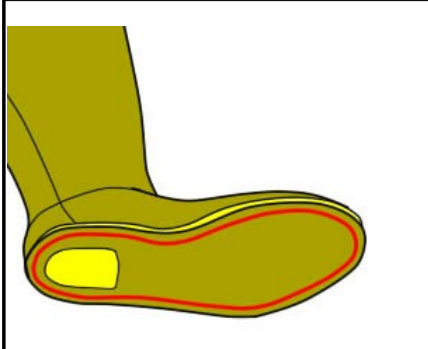
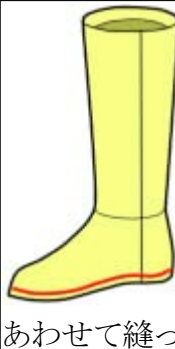
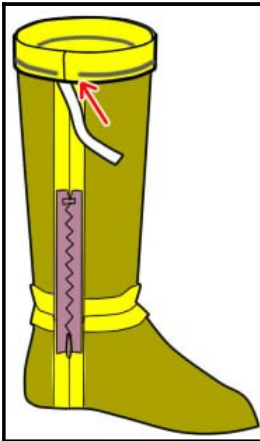
	<p>生地（布）に柄（模様）や印（しるし）を写（うつ）します。</p> <p>ポンチ（打ち針）や目打ち（目打ち針）、不要（いらない）になったミシン針（ミシン針）等で型紙（型紙）に穴（あな）を開（あ）けます。</p> <p>その穴（あな）からチャコペン（チャコペン）で、印（しるし）を写（うつ）していき（い）ます。</p> <p>ボタン（ボタン）などの印（しるし）は表（うら）から、ダーツ（ダーツ）などは裏（うら）からつ（つ）けた方（かた）が分（わ）かりやす（やす）いです（す）よ。</p> <p>糸（いと）は必ず（必ず）伸び（のび）るニット用（ニット用）のもの（もの）を使（つか）ってください（ください） そうしな（し）ないと糸（いと）が切（き）れます（れます）</p>
	<p>寸法（寸法）確認（確認）用（用）ガイド（ガイド）の型紙（型紙）で本番（本番）用（用）の生地（生地）を切（き）ってくだ（くだ）さい（さい）</p>  <p>二つ（二つ）折（お）りにして脇（脇）を縫（ぬい）ってくだ（くだ）さい（さい）。</p> <p>そし（そ）て実（じ）際（さい）に足（あし）をとお（と）してきつ（き）くなく（なく）か確（た）確認（確認）してくだ（くだ）さい（さい）</p>
	<p>靴底（靴底）の見返（見返）しと靴底（靴底）を表（うら）同士（どうし）が内側（うちがわ）になるよう（よう）に重（かさ）ねてくだ（くだ）さい（さい）。</p> <p>カーブ（カーブ）の縫（ぬい）い代（しろ）に縫（ぬい）い目（め）を切（き）らな（な）いよう（よう）に切（き）り込（こ）みを入（い）れてくだ（くだ）さい（さい）。</p>
	<p>見返（見返）しを裏（うら）にひ（ひ）っくり返（かえ）してくだ（くだ）さい（さい）。</p> <p>ふち（ふち）から5 mm（5 mm）の所（ところ）を縫（ぬい）って固（か）定（てい）してくだ（くだ）さい（さい）。</p>
	 <p>かかと（かかと）を表（うら）同士（どうし）が内側（うちがわ）になるよう（よう）に重（かさ）ね縫（ぬい）ってくだ（くだ）さい（さい）</p> <p>縫（ぬい）い代（しろ）は左（ひだり）右（みぎ）に折（お）ってくだ（くだ）さい（さい）。</p>
	 <p>かかと（かかと）のパーツ（パーツ）と外側（うらがわ）のつま先（つまさき）のパーツ（パーツ）を表（うら）同士（どうし）が内側（うちがわ）になるよう（よう）に重（かさ）ね縫（ぬい）ってくだ（くだ）さい（さい）</p> <p>縫（ぬい）い代（しろ）は左（ひだり）右（みぎ）に折（お）ってくだ（くだ）さい（さい）。</p>

	<p>外側のつま先に、内側のつま先のパーツを表同士が内側になるように重ねて縫ってください。</p>
	<p>縫い代は左右に折ってください。</p>
	 <p>足先の部分とすねの部分を表同士が内側になるように重ね縫ってください</p>
	<p>縫い代を左右広げてミシンで固定してください。</p>
	 <p>裏が見える状態で脇を縫ってください。</p>



	<p>ミシンの押さえをコンシールファスナー押さえに替える。 このコンシールファスナー押さえは一般的な家庭用ミシンであれば数百円で購入ができます。 お洋服を作る人は頻繁に使うのでミシンに付属していない場合は1つ購入しておくが良いです。</p> <p>左側は軸から替えるタイプ、右は後のボタン押して押さえを交換するタイプ用 メーカーによって形が異なります</p> <p>コンシールファスナー押さえはこのように裏側に溝が入っています。</p>
	<p>この溝にファスナーのムシ(レール部分)を入れて縫うと、ファスナーのムシのそばギリギリを縫うことができます そして開きどまりまで縫います</p> <p>これでファスナー付け完成</p>
	<p>上側の縫い代を裏側へ折って縫ってください</p> <p>●ゴム入れ口として1.5~2cmあけておいてください。</p>
	<p>表同士が内側になるように底とブーツ上側をあわせて縫ってください。</p>
	



ゴムを中に入れて下さい。

ゴムの両端を縫って繋いでください。

表に返してファスナーをあけてパンプスの中に入れてはい
てください

・必要な材料

表生地、コンシールファスナー 20 cm 平ゴム(通称パンツのゴム) ニット糸

・オススメの生地

ストレッチエナメル テカテカした光沢のある伸縮のある合皮

ストレッチレザー つやのあるものから、つやのない渋いものも。

一方向の伸縮のものや、レオタード生地のような強い伸縮はないものが多い

2WAY レオタード生地とも呼ばれる。縦横に伸びる生地

エッフェル スーパーストレッチミシン糸 家庭用ミシンでもレオタード生地が縫える特殊糸
生地が伸びるので、同じように伸びる糸を使用しないと糸が切れます。

ただ、特殊糸なので高速で縫うと糸が切れやすいので、時々糸がねじれてるなどと思ったら、糸をかけなおすと
良いです。

もちろん下のボビンにも伸びる糸を巻いてください。

数字が大きい方が細いので 50 番を購入してください

ニット針 ニットは伸びるので繊維を切断すると伸びたときに穴が大きく広がりやすいので
出来るだけ生地に負担をかけないニット糸を使うと良いです

数字が小さいと細く、数字が大きいと太くなります

大体 11 番があれば事足りると思います

コンシールファスナー 一般的なワンピースなどに良く使われる、ファスナーのレールの部分が目立たない
ファスナーです。

普通の手芸店で売っています。

100 円均一のコーナーのコンシールファスナーは長さ調節の金具がついていないので、普通の手芸店のもの
を利用してください